



インスピレーションになろう

草加松原ロータリークラブ

2018-19 年度 国際ロータリーのテーマ インスピレーションになろう



第336回 例会 4月23日 草加市文化会館

＊＊本日のプログラム ＊＊

開会点鐘	幹事報告
ロータリーソング	委員会報告
四つのテスト	SAA報告
お客様紹介	出席報告
会長挨拶	閉会点鐘

卓話「次年度について」
飯山英彦会長エレクト

4月16日の例会記録

- ◆ お客様 青少年交換留学生 マグナス・トレカー君
- ◆ 会長あいさつ 森 勇一 会長

皆さんこんばんは、今日はうれしいですね！このところ顔を見ていなかったメンバーの方がお越しいただき、引き寄せの法則というのでしょうか？固まって！渡辺会員の人徳なのかな？と感じました。渡辺会員ありがとうございました。

今日は「キトラ古墳星図」の卓話ということで、どのようなことなのか楽しみにしています。

毎々、草加松原RCの会報、私はいつも読んで思うのですが、皆さんはいつもいただいたらどうしますか？会社に持っていきますか？それとも家族の方にお見せしていますか？

私はいつも家に持って帰り、かみさんに見せます。アライワークではないですが、後ろのページにニコニコのコメントがありますので、本当は行ってなかったのではと言われてしまうので、会長なのでそれはないとまずは安心してはいますが！いつも思うのですが、今日の「ディズニークルーズの旅」ということで先週加藤芳隆会員に卓話をさせていただきました。ところどころ写真を入れて構成していただいて、この録音で、何度も聞き返しながら撃ち込まれている姿を想像すると大変だな～と思います。

本当に頭が下がります。ありがとうございます。わあ、あたしが入会したばかりのころに富永さんから言われた言葉があります。「ここで話したことは、どんなことでも一語一句活字にされるから気を付けてね」と、そうなの、変なこと言えないじゃないと言ったことを今思い出しました。本当に2面を見ると、「地区研修協議会」のことが載っています。「僕の年度も終わりだ、寂しいな～」僕がいない協議会の写真が載っていると、「あ～僕もいよいよ忘れられるのだな～」と思いました。

皆さんのお手元にあると思いますが、「東武新聞」です。草加松原ロータリークラブが「漸草庵百代の過客」こちらに草加市に市制60年お祝いしまして「ジンダイアケボノ」を植樹したという言ことで、植樹式の記事が載っております。このように新聞の良いところに載せていただくと、草加松原ロータリークラブは地域社会に本当に貢献しているのだということ、草加・越谷の市民の方々を知っていただく、本当に良いことだと思いました。

今日は「キトラ古墳」にたくさん時間を取りたいと思います。会長あいさつ終わります。ありがとうございました。



国際ロータリー第 2770 地区第 9 グループ

草加松原ロータリークラブ

会長：森 勇一
幹事：二階堂 祐司

例会日：毎週火曜日 19:00～20:00
例会場：草加市文化会館
事務局：草加市青柳 8-56-21
TEL/FAX 048-967-5315
PC : sokamatsubara@abelia.ocn.ne.jp



「キトラ古墳星図」について

渡辺美和子会員

こんばんは、あまり準備がなくお話をさせていただきますのでお聞き苦しいところもあるかと思いますが、「キトラ古墳」と言って「キトラ」とは何だと、言われておりますが、地名など色々なことを言われておりますが、奈良の終末期古墳、700年前後だろうと推定されている古墳がありまして、その中の古い星の図と四神と言って、「亀と龍と虎と朱雀」の絵が残っていたので国宝に指定されました。その前に私どもは一体にした製図なのですが、当時の方が星をどのように見ていたかをわかるように作ってくださいと依頼が「多摩六都科学館」からありました。非常に苦労しました。どう見るかという、真ん中のところに水平面で半透明の円盤を付けて、これが回るようにということで作ったのです。これは多摩六都科学館が「キトラ古墳とプラネタリウム」ということで番組を組んだからなのです。展示をされ、その後展示を終わった後は奈良の飛鳥資料館に展示をされています。奈良にいらした際はぜひご覧ください。国宝指定になりましたので、今日から5月6日まで国立博物館の本館1階でパネル展示をしています。一緒に国宝指定になりました唐招提寺の古い日本の仏像としては一番古いタイプのものと一緒に並んでいるということなので私も行ってみたいと思っています。

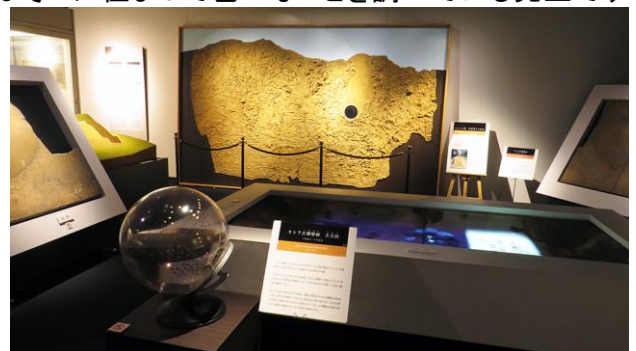
これを作っていて面白いと思ったことは、今も星空を見てもこの星座はこれだということがよくわかるのです。冬の星座というとオリオン座ですね！その側におうし座の頭が見えたり、これもその位置にあります。あと皆さんが知っている北斗七星もちゃんとあります。夏には夏の大三角で白鳥座が羽を広げているところです。おりひめ星にひこ星もありますし、近くにはさそり座のしっぽになるところも残っています。かなり正確に空を見ていたということがわかるのです。どうしてこの時代に作ったか？暦を作るにも、正確に星空を見ているということは、大事なのです。種を蒔いて、このような星の位置に見えるときに収穫するのが良いとかなどもあります。国としてまとまって祭り事をするにも、みんながわからなかったら何もできないので、ある意味では国が纏まって、集権国家ができてきこのようなものが出てきたということなのです。

子らは小さいです。幅が1メートルで高さが1.2メートルしかない、長さは2.4メートルくらいある。石で囲まれていて、平らな所に星の図があって、月と太陽が書いてあるのが残っているのです。4面に4体の神獣が書かれているものも残っています。この古墳よりも前には高松塚古墳が発見されていて、星図があるのですが、全面の星図ではないのです。飾りになっていて、東西南北によっているような製図、東南アジアではこれが一番立派な製図と言うことです。これの基になるのは、中国系の星図でしょうとほぼ言われています。緯度が北緯35度くらいなので長安や洛陽などで観測された星図をつかっているのではないかと今言われています。

そしてこのように残ったもう一つの理由は、漆喰の上書かれているのです。赤い線もしっかりあるのです。赤い線は、辰砂という石からとれた赤い色で書かれているのです。水銀が含まれている石です。もっと前の古墳には、辰砂が亡くなられた方のご遺体なお側にたくさん置いてあるのだそうです。

辰砂のことはあまり話題になってひないのですが、辰砂は、どこでとれたものなのか調べてほしい今会社に月に2日くらい来てくださっている石膏物の先生がいらして、元地質標本館の館長さんだった先生なのですが、そのグループに依頼があって、柏原考古学研究所ですか、奈良にある古墳に敷き詰められている辰砂と、出雲のほうに敷き詰められている辰砂を調べてみました。今は調べられるようになったのです。近畿大学が先端的にできるようになって、出雲のは、中国の内陸部から川を伝って日本に来た！奈良のほうは国産の辰砂でしたという結果が出ました。日本もかなり昔から色々な所と交流して、色々な良い情報をいただいていたのだと思います。赤いところは、本物の辰砂を使っていて、金は本物の金を使っているので輝いて見えるのです。これからどんどんいろいろなことが出てくると思います。渡辺教具はこれを作ったご縁もあるし、「多摩六都科学館」のかたに国宝になっておめでとうございますというか、むこうから連絡が来て特別上映をしますからいらっしやいませんかと来たので行って見まして、この機会にこの星図がもっと世の中に出るように製品化したいけどそれにはどのように手続きをすればよいのでしょうかと聞いてみたら、まずは文化庁に申請をして、画像を保有している奈良文化財研究所にも両方に聞かないといけないのですが、私どもは、日本では星座速水盤の普及ということや天球儀も制度の良いものを作ってきたということ、あとはこの大きいものを収めた実績もあってすぐに許可が得られてびっくりしました。

キトラ古墳に葬られている人はだれかというのは話題にはなるのですが、なかなか特定の〇〇天皇にはいかないのです。少し前の持統天皇は大きい墳墓を作るとを禁止する例を作ったのです。「薄葬令」簡単なものにしてしましようということ言って、それからあとの古墳らしいです。色々なひとが天体観測の仕事をしていた人は、阿倍 御主人(あべ の みうし)ではないだろうか！高市皇子かもしれないと言っているのですが、私が奈良で知っている先生がいるのですが、県立図書館の館長をされている先生はそこに住まって色々なことを調べている先生ですが、そこ方が言うには、百濟王ではない！百濟が国がなくなって、日本に渡ってきた人たちを日本人は優遇して大事にして、色々な知識を教えていただいていたのだと思うのですが、その人たちではないかという説を唱えていますけど、天皇くらいの人しかできない墳墓を海外の人というのは少し違和感があるのかなということ、大きな声にはなっていないのです。キトラ古墳とは関係ないのですが、うちは、ミニ博物館「地球&宇宙」をやっている、埼玉県博物館連盟に入っているのです。



埼玉には古墳群が結構あるのです。最近送っていただいた本なのですが、「山王塚古墳」というのがありまして、この古墳は川越にありまして、「キトラ古墳」よりもっと大きいのです。これは「上円下方墳」したが四角くて上が丸い古墳、中から出土してきた土器ともいえない、上葉がかかっているようなものも出てきて、ちゃんと残っているのです。

つぎは「ハヤブサ2」なのですが、渡辺教具が40年位前から作っている「太陽モデル」という学校教室用の風船なのですが、太陽がこの大きさだとすると、惑星がどれくらいの大きさかということが書いてあります。最初の物は冥王星も入れてありましたが、最近の物はやめました。「冥王星」は惑星ではなくなりました。太陽がこの大きさだというと、彗星は1ミリないくらいです。日本の探査機は彗星に向かっています。彗星は太陽に一番近いので、太陽の引力で引っ張られないようにするのでごく時間がかかります。それは日本とヨーロッパの協力です。上手く特別なものを見てくるとよいですね！金星は直径2ミリくらいですかね！地球は同じくらいか少し大きいくらいです。その割には月が衛星としては巨大なので、月の大きさも書いておきました。月があるので地球の場合は時点軸が安定して生命も蔓延りやすいということは、太陽と星、古代の人たちも書いているわけです。「火星」は地球のどれくらいの大きさでしょうか？地球の2分の1の直径なのです。太陽からは遠いので寒い星です。探査機、アメリカは随分飛ばしていますので、糸井と名情報は入ってきますけど、そこに人間が行ってというのは大変な距離があります。ただ、太陽系の中で「火星」は地球に一番似ている星なのです。少し、地球に比べれば、少しなのですが、空気はあるし、ある程度の大きさもあるので重力も引力もあるし、クレーターもあり、平らな所もありなのです。「火星と木星」火星は、巨大ガス惑星なのです。これで硬い、ガスのような形なのです。火星と木星の間に小惑星があって、星の王子様に出て来る星は小惑星帯にあるというような仮説になっています。リングのある土星も巨大ガス惑星の一つ、太陽からはもっと遠いので天王星と海王星は巨大氷惑星という言い方をしています。本当の氷ではないのですが、凍ってしまうくらいの寒さなのです。

アメリカの探査機は行って帰るはなかなかできていない。冥王星の遠くまで行ってしまった凄い探査機もあるのですが、サンプルリターンができたのは、日本の「ハヤブサ」という探査機、小惑星ひとつ「イトカワ」に行ったのですが、そのカプセルがオーストラリアに戻って、その展示を貸し出しますというニュースがあったので獨協大学にチャンスだからと言ったら喜んでくれて、カプセルだけでなく、色々な先生が読んでお話が聞けて私も毎日のように行き、仕事しなくてよいのですかと言われましたが楽しい時でした。今はそのハヤブサをリターンさせたメンバーも入っていて、新しい人も入って「ハヤブサ」を「りゅうぐう」というところに行きました。最初はサンプルを少し取っただけですが、次のは宇宙の光にさらされてないところが欲しいので、「ハヤブサⅡ」という探査機から小さな爆弾で表面を削って、一度飛び散るものから避難して遠くに離れ、今度はできた新しいものを取ってこようとしています。楽しみなのですが、来年には戻りましょう！

「ハヤブサⅡ」日本が初めて行ったので、ここに色々な地名を付けてしまいました。「ももたろうクレーター」「きびだんごクレーター」などタッチダウン地点は「たまてばこ」「りゅうぐう」の形はそろばんのこまと思えばよいのでしょうか！こんなにデコボコしているとは思わなかったのでタッチダウンは大変でした。軌道計算は非常に大変だそうです。それが得意な人がの科学者と紹介されて、だんだん日本人もメッセージを英語で発信したりお話ししていること、うれしいです。この先生は20年くらい前に、このような仕事をしているのだから、皆既日食を見なさいと言ってくれ、どうしようかと思ったところ、マダガスカルに行って皆既日食を見ようというツアーがあったのでいったところ、この先生 JAXA のかたも来ていたのです。お人柄も良く色々勉強されている先生です。その時マダガスカルには2つのチームがあったのですが両方とも綺麗に皆既日食が見えて素晴しかったです。

このビーチボールを校庭の真ん中に置いておくと水金地火までは入るけど、小惑星帯は校舎を抜けてもっと遠い惑星です。最後に「キトラ古墳」見てください。カメさんに蛇が絡まっている図これが「北」なのです。

朱雀、赤い鳥ですがこれが「南」です。虎が「西」、青龍、青い龍と書くのですが、緑色の龍の形が「東」、kの4つの絵が残っていることが大事なことなのです。高松塚古墳は、朱雀の面がなくなっている。石の上に漆喰が塗られていてその上に絵が描かれている。フレスコ画のようです。天井に星の図があります。直径50センチくらいです。太陽と月があって四神の図があり、その下に人間の顔のように見えますが、十二支の画像が残っていました。ここに朱色が残っているのだからなるべく良い状態の画像をいただくよう文化庁に申請しております。

日本は宇宙開発、少ないお金の中で効率の良い望遠鏡を持っています。

水沢天文台は一度行ったことがあります。東日本大震災の後に中高生を連れて、ロータリーの企画でツアーが出来上がっていたのですが、若い子ども達に夜空の星を見てみようというイベントを企画し、天文の先生も一緒に行っていたので、双眼鏡で本当にきれいに見えたのでみんなは、心に残ったようなのでやってよかったと思いました。

翌日は水沢天文台に行きましたが、大きな電波望遠鏡なのです。パラボラアンテナの大きいものがいくつかあって、その管理は一国一國受信したものを記録していて大変なものです。

あと日本が持っているのは、チリのアタタマに素晴らしい望遠鏡があって非常に上手に読み取って記録！世界で7か所で受けたと言いますが半分くらいは日本が足跡を残した。

今日お話した中では予算が少なくても、努力して一生懸命やっていたら成果が残っていくということが世界にも伝わったかなと思っております。

今日はお話をさせていただきありがとうございました。



青少年交換留学生 マグナス・トレンカー君

みなさんこんばんは、先週から長谷部さんの家で住んでいます。1週間くらいですね！

毎日夜、おかあさんにご飯を食べに行くので、ちょっと、太っています。たぶん！

ちょっと、やばいね！でもいつもおいしいです。

先週に英語のテストしました。勉強ぜんぜん忘れた。

ちょっと、やばかった！今日、体育で走っただけ！

去年、来たとき、ぼくの背は185センチくらいあった。

今は、191センチお兄さんと

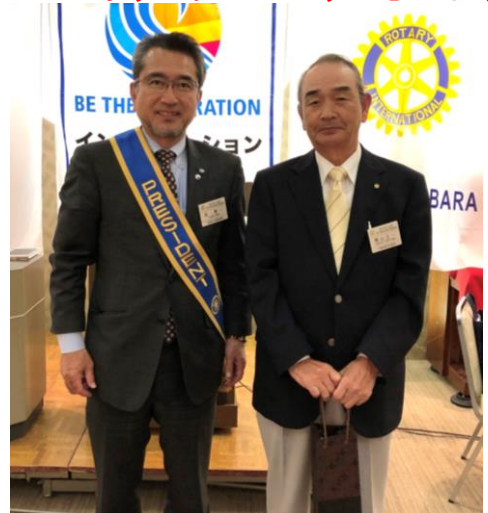
お父さんは195センチくらい

です。

ありがとうございます。



横山正一会員 おたんじょうびおめでとうございます



今後のプログラム

4/30 休会

5/7 誕生祝・結婚祝

レセプション



4月16日 ニコニコBOX

金額	21,000円	累計	612,000円
4月16日 出席報告			
会員総数	43	出席	19
出席免除	8	MU	2
出席適用	35	出席率	60.00

幹事報告 二階堂祐司幹事

皆さんこんばんは、地区協議会、担当の委員長さん、お疲れ様でした。私は載っていませんが分科会に出席しましたので皆さんお忘れなく！

恒例の「第9・10Gチャリティ ゴルフコンペ」の案内が届きました

開催日 5月27日(月)

場所 千代田カントリークラブ

クラブから何組とは言われていませんが、会員数の多いクラブですので皆さん奮って参加をしていただきたいと思ひます。宜しくお願いいたします。

森 勇一会長

本日は渡辺美和子会員の卓話「キトラ古墳星図」を楽しみに来ました。宜しくお願いいたします。

二階堂祐司幹事

今日は会社の倉庫の脇で生まれたばかりの子猫3匹と親猫が日向ぼっこをしていました。やっと暖かくなりましたね、渡辺会員、本日卓話楽しみにしています。

飯山 英彦会員

渡辺美和子会員卓話ありがとうございました。

牛山 信康会員

暖かくなってきました。植物が芽吹いて生命力を輝かせています。我が家の小さな家庭菜園のじゃがいもがようやく地面から芽を出しました。

大久保雄司会員

渡辺会員の卓話楽しみです。

大塚 嘉一会員

カルロス・ゴーンは仮に無罪になっても、もはやかつてのように尊敬を集めることはないでしょう。

川井 大輔会員

渡辺会員、卓話ありがとうございます。楽しみにしています。

勝浦 雅和会員

渡辺さん卓話楽しみに来ました。

加藤 芳隆会員

渡辺美和子会員の「キトラ古墳」の卓話を楽しみにしています。宜しくお願いいたします。

風間 利高会員

ご無沙汰しております。申し訳ございません。

佐々木一男会員

渡辺さん卓話楽しみです。

篠宮 時雄会員

渡辺会員、卓話ありがとうございます。先日の新聞広告凄いですね！

関 洋会員

本日、渡辺美和子さんの卓話楽しみにしています。日曜日、高尾山にて行って来ました。もう人でいっぱいです。

高橋 昌夫会員

12日(金)は入園式でした。新しい子ども達が来始めて、しばらくは喧騒の日々が続きます。

田中 和郎会員

これからしばらく暖かい日が続きそうで助かります。渡辺会員卓話ありがとうございます。

長谷部健一会員

渡辺さん、卓話宜しくお願いします。明日は「L&Cアシスト」のゴルフコンペです。

渡辺美和子会員

快晴を祈っています。

来栖 勝幸会員

製品化しようとしています「キトラ古墳星図」つたないお話を聞いて下さい。

渡辺美和子会員

渡辺会員の卓話を楽しみにしています。